

平成25年度

一般財団法人むなかた地域農業活性化機構事業報告書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

一般財団法人 むなかた地域農業活性化機構

## I. 全体総括

当初計画した事業については、各事業とも概ね計画どおりの実績となった。農地利用集積円滑化事業については、昨年度を上回る61件24.6haを集積し、事業開始から3年5カ月間で累計183件73.1haとなった。農業体験農園の運営支援については、昨年度実施した「農業体験農園バスツアー」が新規利用者の増につながらなかったため、新たに、古賀市、新宮町など近隣市町まで募集範囲を拡大したが、新規利用者を増加させることができなかった。新規就農相談対応については、年々相談件数が減少する傾向にあり、新規就農希望者の新たな掘り起こしに課題を残す結果となった。また、新たな事業としては、むなかた地域新規就農研修事業を開始し、3名の研修生を確保して就農に向けた支援を重点的に行い、うち2名については来年度の就農実現に一定の目途をつけることができた。農作業ヘルパー紹介事業については、本格的な運用を開始し、また、JAむなかたとの連携によりブロッコリー簡易調製所実証を実施するとともに、イチゴのパッケージングヘルパー研修にも取り組むことができた。

その他、若手女性農業者と代表理事との意見交換会を行い、女性の農業経営参画をテーマとして「むなかた「食と農」地域フォーラム」を開催するなど、継続事業についても工夫や改善に取り組んだ。

## II. 事業活動の概要

### 1. 担い手経営改善事業

#### (1) 宗像市認定農業者協議会事務局事務

- ①福津市認定農業者協議会との合同による研修会として、料理研究家の宮成なみ氏を招いて「食卓が伝える愛～私の命が教えてくれた“食”の大切さ」と題した講演会を実施し、認定農業者夫婦に参加を呼びかけた。(8/27・参加者41人(うち宗像市28人))
- ②宗像市農業振興課の担当者を招いて、宗像市における鳥獣被害の現状と対策等について研修会を実施した。(9/24・参加者29人)
- ③第14回枝豆狩り交流会を開催し、認定農業者と一般参加者との交流を図った。(10/12・参加農業者25人・一般参加者約1,600人)
- ④福津市認定農業者協議会との合同による視察研修を実施し、六次産業化への取り組みや、担い手を育成する雇用体制について視察した。(1/28～29・参加者31人(うち宗像市17人))  
視察先：(株)花の海、(有)名田島農産(山口県)
- ⑤宗像市農業委員会との意見交換会(3/25・参加者8人)
- ⑥その他、福岡県認定農業者組織連絡協議会総会、理事会、トップセミナー・北筑前地域担い手・産地育成総合支援協議会研修会へ参加した。

#### (2) 福津市認定農業者協議会事務局事務

- ①「ふるさと先生事業」として福間南小学校(2年生)のイモ苗植付け、収穫の指導を

行った。(植付け 6/5 5人・収穫 11/6 6人)

- ②宗像市認定農業者協議会との合同による研修会として、料理研究家の宮成なみ氏を招いて「食卓が伝える愛～私の命が教えてくれた“食”の大切さ」と題した講演会を実施し、認定農業者夫婦に参加を呼びかけた。(8/27・参加者41人(うち福津市13人))
- ③甘木市から(株)ウィング甘木 代表取締役 松岡吉寛氏を招いて「人を育て地域を支える農業経営」と題した講演会を実施した。(10/29・参加者20人)
- ④14回目となるみかん狩り交流会を開催し、認定農業者と一般参加者との交流を図った。(11/9・参加農業者15人、一般参加者約1,100人)
- ⑤福津市の農業・農政に関する諸問題等について、福津市、議会、福津市農業委員会、北筑前普及指導センター、JAむなかたと意見交換会を実施した。  
(12/20・参加者31人(うち認定農業者16人、関係団体15人))
- ⑥宗像市認定農業者協議会との合同による視察研修を実施し、六次産業化への取り組みや、担い手を育成する雇用体制について視察した。(1/28～29・参加者31人(うち福津市14人))  
視察先：(株)花の海、(有)名田島農産(山口県)
- ⑦ふくつほほえみグループ男女共同参画事業の活動を支援した。(研修交流会等)
- ⑧その他、福岡県認定農業者組織連絡協議会総会、理事会、トップセミナー・北筑前地域担い手・産地育成総合支援協議会研修会へ参加した。

### (3) 認定農業者フォローアップアンケート・面談

- ①農業経営改善計画の中間年(3年目)にあたる認定農業者を対象に、計画の達成状況に関するアンケート調査を実施した(9月実施・宗像市19経営体、福津市9経営体)。
- ②アンケート集計結果について、北筑前普及指導センターと協議を行い、フォローアップ面談(北筑前普及指導センターが実施)の対象者を選定した。(宗像市4経営体、福津市1経営体)

### (4) 宗像地区集落営農組織連絡協議会事務局事務

- ①井上司法書士事務所の井上司法書士と半田税理士事務所の半田税理士を招いて研修会を実施した。井上司法書士からは農事組合法人の登記申請実務について、半田税理士からは国の農政の動向や農事組合法人としての経営のあり方等について講演をしていただいた。(9/19・参加者15人)
- ②視察研修会を実施し、山間部に位置する集落で、効率的・安定的な水田農業の発展を図りながら、集落内の農業・農地を守る法人の工夫や取り組み等を視察した。(1/24～25・参加者11人)  
視察先：嘉瀬の浦ファーム(佐賀県鹿島市)
- ③北筑前普及指導センターの水田農業係長を招いて、『持続的な集落営農組織をめざす中長期経営計画のすすめ』と題して研修会を実施した。(3/4・参加者8人)

### (5) 新設農事組合法人等の支援

宗像市池浦にて農業生産法人の設立を希望する相談者に対して、農業委員への相談、空き農地の確認、法人設立スケジュール等のアドバイスを実施した。

株式会社アグリビジネス九州（平成24年9月10日設立）について、宗像市、北筑前普及指導センター、JAむなかた、顧問税理士等との連携により、随時、経営アドバイスを目的としたヒアリング等を実施した。

#### （6）雇用システム実証事業

福岡県園芸農業等総合事業費補助金を活用して、農家間の労働力融通の円滑化や外部からの労働力の確保を図るため、雇用調整システムの構築に取り組んだ。

- ①農家及び関係機関等による雇用システム実証会議を開催し、雇用調整システム構築に向けた検討を行った。（開催回数3回）
- ②宗像市及び福津市自治会回覧により農作業ヘルパー研修受講者を募集し説明会を開催（8/18）することなどにより、合計78人の名簿登録者を確保した。
- ③JAむなかたとの連携により、延べ120人の農作業ヘルパーを延べ58経営体に紹介した。
- ④農作業ヘルパー登録者のうち6人を選抜し、グリーンセンター津屋崎支店にてブロッコリー簡易調製所実証事業を実施した（12/16～2/26）。
- ⑤ブロッコリー簡易調製所への持込み量が見込みよりも少なかったことなどにより、当初目標（作業量90箱/日以上、農家負担70円/箱以下）を達成することはできなかった（実績：作業量約75箱/日、農家負担79.8円/箱）。
- ⑥農作業ヘルパー登録者のうち4人を選抜し、イチゴ農家3経営体においてパッケージング研修を実施した（2/15～3/15）。
- ⑦パッケージング研修受講者のうち2人が、引き続き研修受け入れ先農家で雇用された。

#### （7）農業体験農園等開設モデル支援

農家の経営改善に向けた取り組み支援のひとつとして、「ダンディ幸一農園」「正助にこにこ農園」「瀧産の体験農園元気村」の運営支援（募集案内チラシ作成、ホームページ掲載、3園合同募集説明会（3/16）開催等）を行った。また、新たな試みとして、宗像市及び福津市内だけでなく周辺地域にもPRを拡大するため、新聞折り込み広告（宗像市・福津市・古賀市・新宮町）及び新聞広告（遠賀郡・北九州市）を利用して募集案内を実施したが、利用者を増加させることができなかった。

- ①「正助にこにこ農園」平成25年度利用区画数18区画
- ②「ダンディ幸一農園」平成25年度利用区画数15区画
- ③「瀧産の体験農園元気村」平成25年度利用区画数18区画

## 2. 後継者育成支援事業

#### （1）新規就農者育成支援

今年度取組み結果として域内就農（研修生を除く）2人、農家研修1人となった。

- ①新規就農相談者への対応のため、統一様式の相談カードを活用して、関係機関による

情報共有とアドバイスを実施した。(相談カード提出14人)

- ②福岡県主催の「ふくおか農林漁業就業セミナー・相談会」に個別相談ブースを出展し、相談対応を実施した。(1/5・相談者6人)
- ③北筑前普及指導センターとの共催により、域内での就農に関心のある者を対象とした「むなかた地域新規就農相談会」を開催し、新規就農者による体験談を中心とした講演と個別相談を実施した。(3/23・参加者9人)
- ④新たな取り組みとして、正助ふるさと村内で、域内の就農者育成を目的とした、むなかた地域独自の農業研修制度を開始した。(7/5研修開始、研修生3人)また、研修後の就農実現に向けた支援やアドバイスを重点的に行い、研修生のうち2人について就農実現に一定の目途をつけることができた。
- ⑤宗像市及び福津市の「人・農地プラン」及び「青年就農給付金」に関する取り組みについて、関係者協議、対象者ヒアリング、集落説明会、個別相談対応等の支援を行った。

## (2) 若手女性農業者育成支援

域内の若手女性農業者によるグループ(菜の花会)との共催により、若手女性農業者研修交流会を開催し、女性農業者を取り巻く環境やその課題について当財団代表理事との意見交換を行った。(2/4・参加者14人)。

## (3) 青年農業者育成支援

- ①北筑前アグリネット(農業士・女性農村アドバイザー連絡協議会、事務局:北筑前普及指導センター)に対して、活動助成金として40千円を交付した。
- ②宗像地区青年農業者会(事務局:北筑前普及指導センター)が実施した平成25年度宗像地区青年農業者会ふれあい農業体験交流会に対して、助成金として100千円を交付した。(5/25・参加者41人)

# 3. 生産流通振興支援事業

## (1) 直売所振興支援

- ①宗像地区の常設直販施設(5か所)を通したむなかた産農産物等の消費拡大を図るため、宗像地区直販施設連絡協議会(事務局:北筑前普及指導センター)の事業として、直売所スタンプラリー(10/1~11/30・応募1,076通)、安全・安心農林水産物制度研修会(8/28・参加者220人)を開催した。
- ②むなかた産農産物を使用した加工品等の知名度向上と消費拡大を図るため、「あんずの里市」において、宗像育ちシリーズ(米・醤油・味噌・豆腐・いちじくジャム・米粉パン)と、特産品開発支援事業で承認された「新たな特産品(米粉ケーキ・イチゴチップス等、むなかた産農産物を使用したキッシュ)」の試食宣伝活動を実施した。  
(3/14 来場者数 約150人)

## (2) 域内流通振興支援

- ① 吉武地区の米・野菜などを振る舞った他、料理教室やコンテストを通じて地元農産物のPRを行った。  
(11/3 グローバルアリーナ 来場者数 約3,500人)
- ② むなかた産農産物の消費拡大PRのため、JR赤間駅において、宗像育ちシリーズ(米・醤油・味噌・豆腐・いちじくジャム・テンペ商品等)のリーフレットやチラシ等を配布した。(11/11・300部)
- ③ むなかた産大豆の消費拡大を図るため、「むなかた産大豆巡り」として、地元産大豆を使うテンペ加工場や、大豆圃場の見学、味噌づくり体験を実施した。  
(11/15・参加者18人)
- ④ ブロッコリーの栽培・収穫体験を通じて、むなかた産ブロッコリーのPRを行った。  
(11/24・12/8・3/30 3家族延べ30人)

### (3) 特産品開発

- ① むなかた産農産物を活用した特産品開発の助成を行うため、特産品開発支援事業助成金交付要綱に基づき助成金を交付した。
  - ・筑前七浦の会(宗像市)…むなかた産農産物を活用した金平糖
- ② 福津市産あんずのブランド化を図るため、遊休農地(約300㎡)にあんず苗木の植樹を行う団体を支援した(3/31・21本)。
- ③ JAむなかた等と米粉を活用した新商品の開発(食材等の助成)。
  - ・宗像牛のビーフストロガノフ(宗像牛)
  - ・塩麴漬けの鳥サンド(塩麴)
  - ・トマトキムチパン(トマト・白菜)

### (4) 米粉製粉施設(機械)の調査・研究

米粉製粉施設(機械)について、視察を通じて、採算性等の調査研究を行った。  
(10/15~16 JA京都「たわわ朝霧」・片山製粉株)

## 4. 農地利用集積円滑化事業

### (1) 重点地区(集落)での推進活動

市が行う「人・農地プラン」の集落説明会に参加し、経営規模を縮小する農家や経営作物を転換する農家がいる集落での人・農地プランの作成を支援することで、担い手農家への農地集積を図った。また、受け手となる担い手がいない集落の農地については、昨年続き、JAむなかた(農業経営課)へ利用権設定を行った。

- ① 深田集落(田島地区)において、経営規模を縮小したい農家からの相談を受け、農地所有者を訪問、事業の説明を行い、農地所有者13名から委任を受けた。委任を受けた農地については、深田区を耕作する担い手農家9名で話し合い(9/27)、担い手農家7名に面的になるよう集積を行った。
- ② 名見他4集落(田野地区)において、大規模農家の規模縮小に伴い、農地を返却された農地所有者8名から相談・委任を受けた。委任を受けた農地については、田野地区

を耕作する担い手農家10名で話し合い(12/26)、担い手農家11名に面的になるよう集積を行った。また、この話し合いで分散していた耕作地を担い手農家で一部交換し、面的集積を行った。

- ③勝浦浜集落(津屋崎地区)において、耕作者の高齢化に伴い、集落内の農地をまとめて誰かに任せたいという相談を受け、経営規模の拡大を旨とする他集落の担い手農家1名に集積を図った。集積するために地元農家と話し合い(11/20・11/26・1/15)、地元農家と協力し農地所有者を訪問、事業の説明を行い、農地所有者10名から委任を受け、農地の集積を行った。
- ④村山田集落(東郷地区)において、遊休農地となっていた農地所有者3名から新たに相談・委任を受け、地元農家と調整しながらJAむなかたへの集積を行った。
- ⑤「人・農地プラン」について、プランの原案作成や集落の話し合いに参加した。ただ、農地の集積計画まで作成することができない集落が多かったが、集落内の農業・農地の現状を把握することができた。
  - ・人・農地プラン原案作成 宗像市12プラン(うち更新2プラン)
  - (河東、光岡、用山、多禮、深田、吉田・山ノ上、原、名見、釣山、高向、石川、浜ノ上)

(2) 農地の貸借に関する相談窓口業務

- ①市に提出する利用権設定申出書の記入指導や取次業務を行った。
- ②農地所有者からの相談・委任を受けて、関係機関と連携して受け手となる耕作者を選定し、貸付けに関する条件の調整・協議を行った。

(3) 集積後の調整業務

- ①担い手への農地集積推進事業における規模拡大加算交付金の申請事務及び農地集積協力金の手続き支援を行った。
  - 《規模拡大交付金》
    - ・対象者16名      ・対象農地888a      ・交付金1,776千円
  - 《農地集積協力金(経営転換協力金)》
    - ・対象者2名      ・交付金30万円×1名、50万円×1名

(4) 25年度委任契約実績

市名		委任(所有者)件数	委任面積
宗像市	25年度	50件	217,493㎡
	(累計)	(126件)	(515,849㎡)
福津市	25年度	14件	28,193㎡
	(累計)	(60件)	(215,544㎡)
計	25年度	61件 ※3件が両市で重複	245,686㎡
	(累計)	(183件) ※3件が両市で重複	(731,393㎡)

## 5. その他の事業

### (1) むなかた「食と農」地域フォーラム

JAむなかたとの共催により、公益財団法人大野城まどかびあ館長の林田スマ氏を招いて「共に輝くいいき農業」と題した基調講演と域内の女性農業者と学識経験者などを交えてのパネルディスカッション「女性の視点・生活者の視点から農業を考える」を実施した。(2/19・参加者346人)

### (2) 広報紙発行

農家向けへの情報媒体として「むなかたアグリ・レター」第4号を発行し、JAむなかた広報誌「べじたふる」1月号とあわせて配布した。(約6,000部)

### (3) ホームページ開設

主に市民一般向けの情報媒体としてホームページを活用し、イベント案内等の情報を掲載した。(更新回数40回)

### (4) 第35回農業功労賞表彰

JAむなかた農業まつりにおいて、第35回農業功労者表彰を実施し、個人の部で花田哲治・泰子夫妻(福津市)、団体の部でJAむなかたアグレステンペ大豆加工グループ(石松シノブ会長)をそれぞれ表彰した。(11/23)

## Ⅲ. 業務管理の概要

### 1. 理事会 開催2回

#### (1) 平成25年5月20日開催

場所：JAむなかた本店201会議室

##### 第1号議案

平成24年度事業報告・決算の承認について

原案のとおり承認可決。

##### 第2号議案

平成25年度事業計画(案)・予算(案)の承認について

原案のとおり承認可決。

##### 第3号議案

新役員(案)の承認について

原案のとおり承認可決。

#### (2) 平成26年2月20日開催

場所：JAむなかた本店201会議室



## 報告事項

- ・米粉製粉機導入関係協議結果について
- ・農地中間管理機構（仮称）による農地集積について
- ・労働契約法の改正について
- ・平成25年度事業の進捗状況について

## 協議事項

- ・平成26年度事業計画（案）・予算（案）について

## 2. 評議員会 開催1回

### (1) 平成25年5月24日開催

場所：JAむなかた本店101会議室

#### 第1号議案

平成24年度事業報告・決算の承認について  
原案のとおり承認可決。

#### 第2号議案

平成25年度事業計画（案）・予算（案）の承認について  
原案のとおり承認可決。

#### 第3号議案

新役員（案）の承認について  
原案のとおり承認可決。

## 3. 登記

平成25年3月31日 理事・監事変更登記

辞任（理事）神谷正和 （監事）鳥巢好孝

平成25年5月24日 理事・監事変更登記

就任（理事）三好康之 （監事）中野和久

## 4. 在勤者数（平成26年3月31日現在）

事務局長（業務執行理事）	1名
事務長（嘱託職員）	1名
事務局員（宗像市から派遣）	1名
事務局員（福津市から派遣）	1名
事務局員（JAむなかたから出向）	1名
事務局員（正規職員）	1名
事務局員（臨時職員）	1名
計	7名